

新生活は父親ゆかりの住宅街で
空間をフル活用したスキップフロアの家

仙台市青葉区 Y邸



家事を助したい妻の希望で、冷蔵庫は仕切り壁の裏に設置。シンクとコンロを2列に併せて作業スペースを拡大し、使いやすく。食品庫の壁にあるフリースペースは、妻の趣味の高層。好きな洋菓や飲み物のためのミシンや小物を整理しておける様も作り付けた。スリット窓で明るい空間に。正面の浴室につながる洗面室。南向きのウッドデッキに直達出来るので、洗濯物を干す時移動がスムーズ。モザイクタイルや大きな1枚鏡、間接照明でモダンな洗面化粧台。トイレは仕切りのない洗面室と一体型。リビングにつながるウッドデッキ。南面道路に出しているが、壁を高くしたことで道路側の視線をまったく気にせずにつろがる。

1階にインナーガレージ
多層設計で光も風も取り込む

数度の転勤生活を経て、仙台に住むことになったYさん。長女が小学校低学年の間に、「拠点としての家を持つ」と土地探しをスタートした。「便利な街中で環境のいいところがよかったです」と話す妻。タイミングよく見つけた土地は、なんと妻の父が学生時代を過ごした、祖父の家近くの土地。夫妻は時間をかけて、ゆかりのある土地に巡り合った。

家づくりでは「インナーガレージが外せない条件でした」とYさん。乗るのも、見るのも、いじるのも好き。大事な車を中に入れるため、ガレージは南面道路側に設計。「それ以外の空間を建築会社が最大限に活用してくれました」と妻。出上がったのは2階にリビングがあり、スキップフロアでダイニング・キッチンにつながる多層の家だ。南向きの窓が効果的に配置され、西隣からの視線を気にすることなく一番奥のキッチンまで光が届く。おまけに夫婦それぞれの趣味部屋まで誕生した。

新居に移って2カ月。「昔住んでいた街なので、父がとても喜んでくれています」と妻。緑の多い街を散策がてら、父や祖父が通ったお店を訪ねることも。ゆかりのある土地になじみながら、新しい出会いを楽しむ毎日だ。



天井の高さと木製のスキップフロアが、ここにいても開放感を感じる開放的なリビング空間。

One Day of Our Family

13:00



次女のお昼寝タイムには ミシンを出して洋裁の続きを

育児や家事に忙しく、自分の時間が取りにくい妻のMさんは、次女が昼寝をし始めたら活動開始。半年、幼稚園に上がる次女のための小物などを食品庫の隣にある趣味部屋で作り始める。「この部屋なら、作業途中のままにしておいてもダイニングからは見えないのが便利なんです」

16:00



ダイニングに設けたフリースペースで 家事をしながら学校の様子を聞く

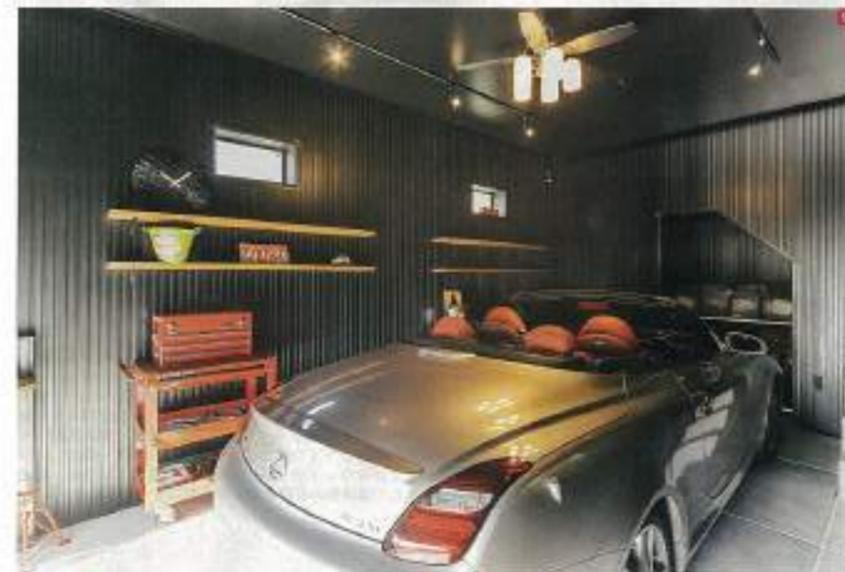
フリースペースは、ダイニングから3段ほど下がったフロア。もともとはパソコン関連を置くために机を通り付けたので、子どもが本を読むのにぴったり。「長女は習字やソロバンの練習をここでしています。夕食の支度をしながら、子どもの姿が見えるので安心です」と妻

21:00



子どものころから好きだった車 読めても、いじっても楽しい時間

プラモデルやミニカーを皮切りに、小さいころから大の車好きだったYさん。インナーガレージと玄関の間に書斎をつくり、小窓から愛車が見えるようにした。子どもたちが寝た後には、車をいじったり磨いたりするのがYさんなりのリフレッシュ。楽しい時間が過ぎてゆく



リビングからスキップフロアでつながり一段高い位置にあるダイニング・キッチンでくつろぐYさん一家。北欧デザインのチェアは二人のお気に入り
子ども部屋は斜り上げ天井とシャンデリアでおしゃれ気分。階段を上がるとロフトになっている
「昼の上で寝たい」という夫のこだわりで寝室は和風。畳まわりの床はスプーンカットしたオークのフローリング
内部に全層タイディングの外装材を用いたインナーガレージ。色は愛車が映える黒
Yさんの書斎はガレージに面した小部屋。以前使っていた車のシートを座椅子として活用中
外観。階段側に窓がなくプライバシーを考えた設計



- [DATA]**
 ○家族構成/夫(40歳)妻(39歳)
 長女(8歳)次女(3歳)
 ○敷地面積/135.50㎡
 ○延床面積/139.50㎡
 1階面積/75.22㎡ 2階面積/63.28㎡
 ○本体工事費/2900万円
 ○工法・構造/木造軸組工法・2階建て
 ○設計・施工/一級建築士事務所 スタッフ

